

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら宮前第二教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安定した信頼感かと感じます。クレーム類などを頂いたことがありません。また誠実な対応を心がけております。忘れ物は一報入れたのち、必ず当日中に返却します。またこちらのミス、転倒などの事故があった場合、遅滞なく、詳細に連絡させて頂いており、その点が親御様より信頼を頂いているゆえんかと思っています。	親御さんの要望、児童の想いや願い、支援者の働きやすさの3点を、どれをとっても突出しないように正三角形を保てるようにバランス良くする事で健全な運営、長期安定した教室運営ができると考え、実践しています。	今まで通り、親御さんの気持ち、姿勢、願いなどに耳を傾ける態度を常に持ち続けていきます。また、隠す事なく、ミスや非礼を謝罪する気持ちも保ち続けていきます。
2	個人にあった支援内容です。ご本人の特性にあった方法を用いて支援課題の内容、提供時間、方法などを組み立て、それらを各先生に熟知してもらうために、支援方法のチェックシートを日毎に用意し、現場に配布、誰でも（児童さんも含め）簡単に見る事ができるよう、配慮しています。	児童さんに直接影響を及ぼすのは対応にあたる先生と呼ばれる職員であるため、職場が健全であるように努めています。誰もが笑顔で児童さんと対面できるように、そのため、全従業員から3か月ごとに面談時間をもらい、不満、不安の種を解消しようと考えています。	支援方法は今後も極力、個々のニーズに合致した内容を取り上げていきたいと思います。加えて児童さんのやる気やモチベーションをさらにくみ取れるようにしていきます。
3	常にスモールステップの精神で児童達に接している事、また、その事を親御さんに周知し、理解していただいている事です。児童それぞれ、その日の体調、精神面において好不調は必ずあり、それを様々な情報（感情、表情、体調）から読み取り、「ダメな日もあるさ」をモットー支援展開を行っています。	とてもベーシックですが、怪我をさせない事を第一条件にしている事です。不幸にして、職員数が全く足りていない日は、直ちに通常の支援方法を中止し、最低ラインの第一条件である「怪我をさせない」というところまで支援の「質」を落とし、安全に最大限特化した支援に切り替えます。そのためか開所以来大きな怪我、通院事例などはありません。	常に「児童ファースト」を掲げてきており、今後もその点はぶれる事なく、教室を作ってまいります。私達を含め弱者視点は今後も持ち続けていくために、研修やカンファレンスなどで常時確認し続けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上によるバリアフリーにできない弊害があります。3階建ての2階、1階部分を主に支援室に充てているため、階段の利用は必須。しかし、コンクリート製の階段と建物を頑丈に支えるための梁が少し出ているので、頭や肩をぶつける心配があります。	左記の課題は階段スペースにも関わらず、通常想定外の場所に横梁があるため、ぶつけやすいのだと思います。	そのため、横に張り出している梁の部分にアニメのキャラクターや各児童さんの写真を貼るなどして、梁を目立たせ、注視させる事で、頭や肩をぶつけないように工夫してあります。
2	保護者会などの開催が少ない。	親御さんからの注文、クレームなどが少ない事から、特別に困りではないと考えてしまいがちであると推察しています。特にご要望などはほとんどかなえられるもので、そのほとんどをかなえてきたため、充足されている、という考えに陥っているのかもしれません。	まずは年に2回の保護者会を開催する事を目標にします。開催する事によって、親御さんがより臨むものがわかり、よりニーズに合わせた保護者会を開催できるのではないかと思います。
3	地域社会との交流	系列教室や関係機関との連携は模索できていると思いますが、地域交流となると、その方法すらわからない、その事が課題と感じています。	町内会の催事などを掲示板で確認し（教室近辺に掲示板あり）参加可能な催事はチャレンジしてみる